

令和2年度 摂津市立児童発達支援センター事業報告

I 児童発達支援センター「つくし園」

(1) 概況

つくし園は、児童発達支援センターとして、発達に課題のある子どもたちを対象に障がい特性へのきめ細かい配慮を行う『障害児相談支援』、保育所・幼稚園・学校等を訪問し、発達に課題のある乳幼児、児童に対し集団生活をより豊かに過ごすことができる様に専門的な支援や教職員に対するアドバイス、その他の必要な支援を行う『保育所等訪問支援』、そして通園を中心とした『児童発達支援』の三つで児童発達支援センターの指定要件であるすべての事業を行っている。

障がい種別を問わない就学前の乳幼児の心身共に豊かな発達を育む環境を整えることを主眼に置いた療育、保育を行った。また、個々様々な発達の課題を有している子どもの保護者に対して子育て支援・家族支援を行いともに子育てをする関係作りを大切に取り組んだ。

進路指導に関しては全利用児を対象にクラス面談及び個別面談を行い、就学を迎える5名については、市教育委員会に園の進路指導に関する取組みの理解を得て、対象校区の小学校及び支援学校の保護者見学の機会を設け、対象児の体験入学等を実施し進路決定に繋げた。

障害児相談支援については、発達に課題のある児童を対象に児童期における障がい特性へのきめ細かい配慮を行い実施しているが、年々増加する相談件数への対応として、保護者に不安を与えず、今まで通りのサービスの提供を継続出来る事を主眼に置き、摂津市子育て支援課との協議により、当センターのみの利用児に対し「セルフプラン」の導入となった。今後も保護者ニーズを探りながら見直し、検討を行う必要を感じている。

(2) 療育の状況

発達に課題がある児童について個々の特性や発達段階に応じて集団や個別で療育を行った。

- ① クラス編成は単独通園2クラスと親子通園1クラスとし、年齢、発達状況、親子関係、家庭環境を考慮した個別支援計画を立て療育を行った。親子クラスでは単独クラスへの移行の見通しを親子ともに持ちやすいよう、母子分離の機会を設けると共に、登園日数を変更する等し、スムーズな移行につなげるなど状況に応じたきめ細かな取組みを行った。
- ② 食事、排泄、着脱など基本的な生活習慣の自立を目的とし、個々に応じた援助を行い習得に向けて取り組んだ。その中で生活リズムが整う様に援助した。
- ③ あそびや様々な行事を通して人との関係性を育むとともに、その中で自己を表現し発揮できるよう配慮を行い、心豊かに過ごすことが出来るよう環境を整える工夫を行った。また全員で同じ遊びに取り組む設定保育では、個々の発達状況、興味関心により課

題別にグループ編成をするなどし、ひとり一人が集団の中で自分の力を発揮できる様な環境作りに力を注いだ。

保育士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等、多職種で連携を図り日々の保育を行った。

④ 行事

(人)

実施日	行事名	場 所	参加者 (人)	内 容
4 月 3 日	保育説明会	園 内	園 児 20 保護者等 23	保護者に通園における諸規則、注意事項を説明した。
5 月 10 日	日曜参観	〃	中止	
7 月 6 日	七夕まつり	〃	園 児 23 保護者等 9	季節の行事として経験の拡大を図った。
7 月 22 日	夕涼み会	〃	中止	
10 月 2 日 6 日	遠 足 (親子クラス)	大枝公園	園 児 4 保護者等 5 園 児 3 保護者等 3	親子通園クラスの在籍園児の集団としての活動で、親子で楽しんだ。
10 月 14 日	遠 足	摂津市立三島公園	園 児 7	単独通園クラスの在籍園児の集団としての活動を楽しみ、経験拡大を図った。
10 月 15 日	(単独クラス)	万博自然文化園	園 児 9	
10 月 31 日	運動会	鳥飼体育館	園 児 25 保護者等 59	保育の運動面の取り組みについて保護者と成長や課題を確認する機会とした。
12 月 11 日	クリスマス会	園 内	園 児 27 保護者等参加なし	友達と一緒にクリスマス会を楽しんだ。
2 月 16 日 ～19 日	生活発表会	〃	保護者観覧なし ビデオ撮影し DVD 販売	一年の総まとめとして子どもたちの発達を DVD を通して保護者と確認し成長の糧とした。
3 月 10 日	お楽しみ会 (単独クラス)	大仙緑地公園	園 児 15	1 年の締めくくりとして、公園に出かけ、園でお弁当を食べ園児が楽しむ機会とした。
3 月 19 日	卒園式 修了式	園内	園 児 13 保護者等 25	卒退園・一年の修了を祝った。

行事については・通常の保育形態で実施する行事 ・季節の行事 ・保護者と協力して実施する行事 ・家族参加の行事に分類されているが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症対策により、行事の中止、内容の変更等、その時の状況に応じて実施した。

⑤ 家庭との連携

園と家庭との連携のため、行事の参加はもとより以下の取組みを実施し、園児の発達に共通の認識を持ち、わが子の理解を深め、家庭での育児力を育むことに取り組んだ

項 目	実施内容
家庭訪問	園児の生活基盤である家庭の状況を把握するため入園後、感染症の状況を踏まえ保護者確認のもと実施した。
個別面談	各担当者が保護者との信頼関係を築きながら、生活習慣と発達の援助について園と家庭での様子に関する情報交換を行い、課題に取り組んだ。進路については、保護者の気持ちも大切にし、ともに悩み考え、わが子の理解にもつながるよう援助し、保護者自身で決定出来る様寄り添った。(年2回、その他随時)
クラス面談	各クラスの状況に応じた取組みや課題設定についての説明を行った。保護者がクラスの中で他の保護者の意見を聞き、また自分の悩みを話すなどの機会とし、ともに子育てをする仲間としての関係作りにもつなげた。
3者面談	進路の決定や家族の障がい受容に向けて、必要に応じて両親が参加しやすい日曜日・行事後に面談を実施した。(随時)
合同親子保育	全園児、全保護者を対象とした取組みを行う。2クラス合同で行うことによりクラス間の交流、全体としてのまとまりをねらいとして実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず。
単独クラス親子保育	単独通園クラスを対象とし、保護者も保育に参加してもらう中で、児の成長をともに喜んだり、家庭との様子の違いや家庭での困りごとについての情報交換を行い、園と家庭の役割・協力体制を整えることを目的として実施している。 ※令和2年度は感染症の状況を見ながら年2回の実施となった。
保育参観	参観は、給食参観・日曜参観・生活発表会の事前練習参観等を年度当初計画していたが、計画通りに実施することは難しかった。保護者が園での子どもの様子を把握する目的での参観は、保護者の希望により随時受け入れを行った。
連絡ノート	日々の園と家庭での子どもの生活状況(食事・睡眠・健康状態)などの伝達的手段として活用した。また、保護者の育児に対する考え・姿勢・悩みを聞き、思いを共有したうえで、園での取り組みを伝える等子育てに対するアドバイスを行い、保護者の育児力を育むと共に育児負担の軽減に努めた。(毎日)
園だより	近況紹介、新入園児の紹介、月間予定、給食だより(献立表)連絡事項などの内容で保護者、関係機関に配布した。(毎月)

* 母親教室

子どもの発達に関する学習や講習による技術習得をすることにより、保護者の負担を軽減し、子育てに精神的なゆとりを持つことが大切と考え、年5回児童発達支援センター職員である訓練士、心理士等より例年は保護者対象に講話を行っていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策により実施せず。

⑥ 進路指導

就学については、摂津市教育支援課主事による摂津市における就学指導の説明、大阪府立摂津支援学校小学部主事に学校説明会の依頼を行い、当園にて年長児対象に「就学説明会」を実施した。

また、年長児の校区にあたる小学校に当園の就学指導の取り組みや、見学・体験入学の主旨、園児の状況等を伝え、理解を深めた。そのうえで見学・体験入学実施を依頼し、職員が付き添った。そのことを通し保護者が進路先について十分な理解と検討を行った上で、進路決定をし、教育支援会議を迎えることが出来る様援助した。

就園（幼稚園、保育所）については、職員による進路説明会を行い、幼稚園・保育所に対する理解、進路選択の手順についての説明を行った。そのうえで、保護者自身による見学・相談に繋げ、随時個人面談等で相談に応じた。

(保護者懇談会)

(人)

実施日	内 容	保護者
6月5日	就学児進路説明会	4
6月12日	幼保進路説明会（年中）	8
6月26日	幼保進路説明会（年少）	10

※6月中旬入園の年長児には個別で説明

(小学校・支援学校小学部)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
4月28日	摂津市立鳥飼北小学校	取組説明	2
5月1日	摂津市立味生小学校	取組説明	1
6月2日	摂津市立鳥飼西小学校	取組説明	1
7月5日	摂津市 教育相談	相談	4
7月7日	吹田市立第2小学校	見学会	1
7月16日	摂津市立鳥飼西小学校	見学会	2
7月22日	摂津市立鳥飼北小学校	見学会	2

8月3日	大阪府立摂津支援学校	見学会	4
8月5日	大阪府立吹田支援学校	見学会	1
8月25日	摂津市立味生小学校	見学・体験	1
8月27日	摂津市立鳥飼西小学校	体験	1
9月14日	大阪府立摂津支援学校	教育相談	3
9月17日	摂津市立味生小学校	体験入学	1
10月12日	吹田市立第2小学校	体験入学	1
10月16日	摂津市立鳥飼北小学校	体験入学	1
11月6日	大阪府立茨木支援学校	体験入学	1
11月12日	摂津市 教育支援会議	検討会議	4
2月4日	大阪府立吹田支援学校	体験入学	1

(幼稚園・保育所)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
1月22日	私立 勝久寺保育園	一日保育	1
2月1日	摂津市立べふこども園	一日保育	1

(3) 健康管理

園児の健康状態の把握には常に家庭と連絡を取り、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め、助言、指導を受け療育に活かしてきた。特に感染症対策には細心の注意を払い、手洗い・手指消毒等の対応をした。また、体調の変化には細心の注意をはらった。日々の取組みとしては、戸外遊びなどを多く取り入れ、身体づくりを行うとともに歯磨き指導や給食時における食事指導による健康づくりを実施してきた。

5月より園庭に日除けネット、ミストシャワー等を設置し、快適な園生活を過ごすことが出来るよう努めた。また、健康診断は次のとおり実施した。

①内科医健診

健 診 日	7月30日、12月9日
-------	-------------

②その他健診、検査

健 診 日	内 容
7月30日	耳鼻科健診
9月9日	歯科健診
11月12日	尿 検 査

※新型コロナウイルスの影響により、健診日程が例年より遅くなっている。

(4) 給食調理

園児の心身の健全な発育、発達、健康の維持増進、体力の向上を図るため質・量ともに適切な食事を提供することに努め、園児及び園生活の現況に即した給食提供を行った。給食業務をウオクニ株式会社に業務委託を行い、大量調理マニュアルに沿った衛生管理の充実にも努め、月1回の同社の調理員・営業と施設側の施設長・保育士・児童指導員・栄養士で給食会議を実施し、喫食状況の把握、園児の状況に配慮し調理形態を工夫した給食提供をした。また可能な範囲で食物アレルギーのある子への除去食の提供を行った。

家庭との連携のため月1回給食だより・献立表の配布を行った。

(5) 通園児の状況

① 通園状況(延べ人数)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
親子クラス 園児数	91	101	125	120	97	75	115	109	103	104	98	106	1,244
単独クラス 園児数	193	221	249	273	230	307	343	360	330	303	309	334	3,452
園児数計	284	322	374	393	327	382	458	469	433	407	407	440	4,696

② 年齢別

(人)

年齢	3才	4才	5才	6才	合計
男	2	7	7	4	20
女	0	3	5	1	9
計	2	10	12	5	29

③ 障がいの状況(原疾患・合併症・診断名)

(人)

区分	発達遅滞	染色体異常	自閉症 スペクトラム障害
男	20	2	8
女	9	0	2
計	29	2	10

④ 療育手帳の所持

(人)

区分	A	B1	B2	所持無	合計
男	6	1	6	7	20
女	3	1	2	3	9
計	9	2	8	10	29

⑤ 身障手帳の所持 (人)

区分	1 級	2 級	合計
男	2	0	2
女	0	0	0
計	0	0	0

⑥ 進路の状況 (人)

区分	保育所	幼稚園	支援学校	居住地小学校	合計
男	1	3	3	1	9
女	0	4	1	0	5
計	1	7	4	1	13

(6) 障害児相談支援

児童発達支援センターの地域支援の一つに位置づけられ、子どもたちの抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行った。

① 利用状況 (人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
身体障がい	0	0	4	2	1	4	6	5	6	4	6	4	42
重症心身障がい	5	11	5	5	9	7	7	6	5	10	3	5	78
精神障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
知的障がい	17	8	14	32	30	28	38	24	40	51	43	44	369
発達障がい	9	6	17	21	21	13	21	19	23	21	15	18	204
その他	5	21	27	7	11	11	20	19	21	18	11	8	179
合計	36	46	67	67	72	63	92	73	95	105	79	79	874

② 支援内容 (人)

福祉サービスの利用等に関する支援	156	保育・教育に関する支援	218
障害や病状に関する支援	16	社会参加や余暇活動に関する支援	2
健康・医療に関する支援	80	家計、経済に関する支援	7
不安の解消・情緒安定に関する支援	8	権利擁護に関する相談	8
家族関係・人間関係に関する支援	26	その他	414

延べ人数 735 人 相談件数 2343 件

(7) 保育所等訪問支援

専門的な知識を持った訪問員が保育所等を訪問し、集団になじめない等課題のある子どもたちに対して、より集団生活が豊かになるよう、対象児への直接的な支援、職員、環境などへの間接的な支援等、必要な支援を行った。

実施状況 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
公立保育所	1	0	3	2	4	2	4	3	4	3	5	4	35
私立保育所	5	6	8	8	8	8	9	11	8	10	10	9	100
公立幼稚園	0	0	6	7	6	7	7	9	7	8	8	8	73
私立幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	6	17	17	18	17	20	23	19	21	23	21	208

(8) くまさん親子教室事業

家庭児童相談課からの紹介により、発達や養育上に課題のある1歳から3歳児とその保護者を対象に、親子教室を実施した。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令中は、集団での教室を実施せず、個別対応として1組の親子で実施した。

6月より参加人数を制限して集団での親子教室を開始したが、感染を懸念し参加を控える保護者もいた。

実施状況 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月曜日	2	4	14	13	12	11	9	13	12	8	18	19	135
火曜日	1	5	12	12	9	18	19	11	17	18	16	21	159
水曜日	0	4	0	0	0	6	8	22	13	16	16	21	106
木曜日	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
金曜日	1	7	8	15	12	11	16	13	14	20	18	12	147
計	5	22	34	40	33	46	52	59	56	62	68	73	550

※新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令中は木曜日にも実施していた。

(9) 日中一時支援事業

日中一時支援事業（市町村事業）として、主につくし園通園児を対象に、長期休暇中の余暇支援、保護者の就労やレスパイト支援を目的とし、家族支援の一環として日中活動の場として受入れを行った。

利用実績

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	19	16	29	26	22	22	26	25	26	21	22	40	294

(10) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携をとるため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会議（毎月2回）
2. 行事会議（随時）
3. ケース会議（随時）
4. 家庭児童相談課との会議（判定会議等）
5. 処遇会議（毎日）
6. 給食会議（月1回）
7. 総括会議（年度末）

(11) 災害防止対策

通園児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練（総合訓練を含む）を月に1回実施した。

(人)

実施日	想定災害	訓練内容	参 加 者			
			園児	保護者等	職員	合計
4月17日	火災	避難訓練	14	5	15	34
5月15日	〃	〃	10	2	15	27
6月22日	〃	〃	16	4	12	32
7月10日	地震	〃	16	5	13	34
8月28日	火災	〃	19	5	12	36
9月11日	〃	〃	19	5	15	39
10月19日	〃	〃	14	3	12	29
11月30日	〃	〃	20	5	14	39
12月18日	〃	〃	17	5	12	34
1月15日	火災・通報・消火	総合消防訓練	21	5	18	44
2月24日	火災	避難訓練	19	0	11	30
3月24日	〃	〃	18	0	13	31

(13) 職員研修

日常の療育活動に必要な知識、技術を習得し、職員の資質を高めるため研修会等へ参加した。

研修日	研修名	開催場	主 催	職種
6月～2月	北摂杉の子会 こども発達支援センターwill 令和2年度研修講座	オンライン	大阪府	職員全員
6月13日	指定障がい児支援事業者等 集団指導	書面開催	大阪府	施設長
7月25日	施設管理者・利用者向けコロ ナウイルス発生・感染拡大防 止研修会	摂津市立 コミュニティ プラザ	一般社団法 人摂津市施 設管理公社	施設長
7月	大阪府医療ケア児等支援者養 成講座	リモート	大阪府	保育士
7月28日	安全運転管理者講習	摂津市	大阪府	管理者
10月	大阪府サービス管理責任者基 礎研修	リモート	大阪府	保育士
12月	相談支援専門員現任研究	リモート	大阪府	相談支援 専門員
2月	言葉の発達	リモート	通園分科会	保育士

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、中止となる研修会が多く参加者が例年に比べ少数となった。

(14) 施設実習生の受け入れ

児童発達支援センターの地域における社会資源として、外部からの実習生を積極的に受け入れた。

実習期間	学校名等	内容	人数
7月6日～17日	日本メディカル福祉専門学校	保育実習	1
8月17日～24日	聖和短期大学	保育実習	1
8月25日～28日	聖和短期大学	保育実習	1
8月31日～9月7日	聖和短期大学	保育実習	1
9月8日～15日	聖和短期大学	保育実習	1
2月1日～15日	京都光華女子大学	保育実習	1
2月15日～2月22日	聖和短期大学	保育実習	2

2月24日～3月3日	聖和短期大学	保育実習	2
------------	--------	------	---

※実習生の受け入れにあたっては、2週間前からの検温の実施、当日の健康チェック表の提出を求めた。

(15) 他機関との連携

① 子育て支援ネットワーク推進会議

例年行われていた各協議会・各行事は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の取り組みより実施されず。

② 摂津市児童発達支援事業所連絡会

市内の事業所が集まり連絡会を開催する。情報交換、スキルアップを図り、全体的な支援体制を向上させるというねらいで実施しているが、令和2年度は、5月、3月ともにアンケート実施等の書面開催とする。

③ その他

* 摂津市要保護児童対策地域協議会

当園入園までの経緯及び、入園後の家庭環境や親子関係の様子から、虐待等好ましくない家族関係や家庭環境が見受けられた場合は、要保護児童対策地域協議会と連携を図り、情報交換、役割分担をして子どものすこやかな育成及び家族支援に努めた。

※対象児の就学にあたり、関係機関でのケース会議実施

* 卒園後のフォロー体制

卒園児が就学した小学校へ担当職員が出向き、児がより安心して学校生活を送ることが出来る様、職員が作成した資料をもとに引継ぎを行った。また、必要に応じて継続的に、就学先や卒園児保護者からの相談に応じた。就園児が入所・入園した保育所・幼稚園へも担当職員が出向き、就学児同様引継ぎを行いよりスムーズに移行できるように努めた。

* ボランティア

保育実習後、保育ボランティアを希望する学生3名の受け入れを行った、地域ボランティアについては行事の開催がなかったため受け入れはなかった。

* 職業体験

令和2年度はなし。

(16) 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

令和2年2月頃より日本国内での感染者拡大を受け、下記対応を行った。

- ・園児、職員、来園者の手洗い・うがい・消毒・体温等体調チェックの実施
(体調がすぐれない・37.5度以上の発熱の場合は利用を控えていただいた)

- ・活動前後の手洗いうがいの励行・マスク着用の徹底（未就学児は除く）
- ・密を避ける環境構成及び室内の換気・保育内容の工夫
（密にならない。飛沫が飛ばない。玩具を共有しないなど）
- ・行事の縮小・内容の変更及び中止
- ・玩具・設備（共有部分）等の消毒。使用後の部屋の消毒
- ・感染防止のための環境設定（アクリル板の設置・空気清浄機の設置等）
- ・保護者・職員への感染を防ぐための対応・行動等の協力依頼
- ・相談員による家庭訪問・事業所訪問の自粛（電話・手紙の活用）
- ・家族に感染の可能性がある自宅待機となった場合は、職員及び当園利用児も自宅待機の協力を要請
- ・他機関との情報共有

◆令和2年4月7日に発令された緊急事態宣言中の取り組み

摂津市子育て支援課と協議のもと、保護者全員に登園自粛の協力を要請。その後、家庭環境、児の状況等を考慮し、親子クラスは週2回、単独クラスは週3回の分散登園を実施する。解除後は、親子クラス隔週週3日登園、単独クラスは週4日登園を実施し、段階を経て通常登園とする。その後の緊急事態宣言発令期間中については、感染拡大防止対策を徹底したうえで、従来通りの事業を実施した。1年を通して、通園バス内が密になるため、自力登園、自力降園の協力依頼を行った。

◆今後に向けて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策への対応は長期化すると考えられる。

今後も、摂津市子育て支援課等関係機関と連携を図りながら「児童発達支援センター」として、市民に安心・安全なサービスを提供するためには、感染を防止するための環境を整えることはもとより、職員の意識の継続が必要となる。その為、職員の精神面へのケアも必要かつ重要と考えられる。

Ⅱ 障害児通所支援施設「めばえ園」

(1) 概況

めばえ園は、児童福祉法による通学利用の発達に課題のある児に対する支援を行う身近な発達支援の場として、就学児を対象に「放課後等デイサービス事業」を実施した。併設しているつくし園内の相談支援及び行政機関（出産育児課、子育て支援課、家庭児童相談課）で受け付けられたのち、障害児相談支援事業所で作成される障害児支援利用計画書に基づき、理学療法・作業療法・言語療法の訓練領域について、個々の課題に沿う訓練を保護者との連携のもと実施した。心身その他状況に応じて、生活に関する相談及び助言等も行った。

摂津市出産育児課、家庭児童相談課、教育支援課からの依頼、観察・評価ケースが 73 件、保育所の巡回指導からのケースが 23 件あった。各関係機関からの協力依頼に基づき連携・協力を努めた。

めばえ園では今後も摂津市の子どものために関係機関との連携を密にとり、社会や利用者のニーズに応じていけるよう更なるサービスの向上を図っていきたい。

(2) サービスの状況

① 理学療法

個別訓練を発達段階に応じて実施した。個別訓練では感覚、運動レベルの機能障害に対しての訓練指導のみならず、利用児を取り巻く生活環境や家族関係等への指導助言も、丁寧に行い、訓練とともに成果をあげた。

② 作業療法

知覚、認知、概念の学習や日常生活動作指導、手指機能訓練を主として行った。利用児を取り巻く生活環境や生活場面での状況に応じて、指導助言も丁寧に行い、訓練指導によって行動の安定、集中力の強化、コミュニケーションの拡大などにつながり、場面適応が改善されてきた。グループ訓練と個別訓練を、発達段階に応じて実施した。

③ 言語療法

口腔器官、聴覚器官だけの障害でなく、それらを制御する中枢器官に問題のある場合が多い中で早期治療が行われる事によって、伝達、思考、記憶への発達面の援助を行ってきた。

④ グループ訓練

健診後のフォロー教室として、出産育児課からの紹介等により、週 1 回の親子教室を実施し、子の困り感へのアプローチだけでなく、こだわり等により育てにくい子を持つ、子育てに悩む保護者に対して、保育士・言語聴覚士・作業療法士があらゆる側面から支援

を行った。

⑤ 送迎サービス

利用児の利便性向上のためニーズに応じて送迎サービスを実施した。

⑥ 障害児通所給付費支給申請の援助

障害児通所給付費の支給期間終了を迎え、継続が必要な利用児の支給申請について、相談支援専門員と連携を図り援助を行った。

⑦ 家庭との連携

訓練には親子で来園し同室で訓練の様子を見てもらうことにより、児への対応と発達段階を理解できるよう努めた。また、学習し成長していく過程を担当職員と共感し、児への理解を深め受容できるように、助言すると共に、揺れ動く保護者の気持ちに寄り添ってきた。

⑧ 関係機関との連携

利用児の所属小学校の担任教諭等が訓練の見学に来園し情報共有を行う、こども教育課の保育所巡回指導で公認心理師と作業療法士が同行して、助言や意見交換を行うなどした。また、必要に応じて「教育支援会議」に出席し、情報提供及び助言を行った。

(保育所 巡回指導)

実施日	対象機関
9月14日	認定こども園 せつつ遊育園
9月17日	認定こども園 みなみせんりおか遊育園
9月18日	私立 鳥飼さつき園
9月24日	私立 藤森保育園
10月20日	摂津市立鳥飼保育所
10月22日	子育て総合支援センター
10月26日	摂津市立べふこども園
10月27日	私立 ひかりにこにこ保育園
10月29日	認定こども園 つるのひまわり園
11月5日	私立 正雀ひかり園
11月30日	私立 勝久寺保育園
10月27日	私立 ひかりにこにこ保育園

(引継ぎ・来園相談・見学)

学校

実施日	対象機関
4月1日・9月23日 11月16日・11月24日	摂津市立三宅柳田小学校
4月1日・6月26日 7月31日・9月14日 9月16日・10月17日 11月10日・11月19日 12月8日・12月15日 2月5日・2月15日	摂津市立鳥飼西小学校
4月6日・10月28日 11月6日・12月2日 12月18日	摂津市立別府小学校
4月2日	摂津市立味舌小学校
4月6日・2月26日	摂津市立千里丘小学校
4月24日・10月16日 12月9日	摂津市立摂津小学校
4月7日・3月1日	摂津市立鳥飼東小学校
4月1日・12月26日	摂津市立鳥飼北小学校
4月7日・6月19日 10月8日・12月1日	摂津市立味生小学校

(幼稚園)

実施日	対象機関
7月30日	かおり幼稚園
3月18日	藤森保育園

(他機関への講師派遣)

実施日	派遣先
1月29日	摂津市学童保育室指導員研修

(3) 健康管理

利用児の健康状態の把握には常に保護者と連絡調整を図り、必要に応じて医療機関・担当保健師との連携に努め助言・指導を受け訓練に活かしてきた、特に感染症対策には細心の注意を払い、保護者・利用児において手洗い、うがい、手指消毒の励行、検温等体調管理に努めた。

(4) 通園児の状況

(人)

月別	開所日数	就学児	未就学児	合 計
4	21	50	48	119
5	18	55	69	142
6	22	63	105	190
7	21	51	123	195
8	20	51	122	193
9	20	51	143	214
10	22	57	157	236
11	19	46	130	195
12	20	40	137	197
1	19	44	143	206
2	18	40	154	212
3	23	44	159	226
合計	243	592	1,490	2,325

(5) サービス別の利用状況

(人)

	サ ー ビ ス 別						観 察	つくし 個別 指導	延人数	
	理学療法		作業療法		言語療法					グ ル ー プ 訓練
	放	児	放	児	放	児				
4	8	16	21	23	21	4	5	7	4	109
	24		44		25					
5	7	23	31	33	17	7	6	4	9	137
	30		64		24					
6	8	27	32	51	23	6	21	5	15	188
	35		83		29					
7	8	28	24	55	19	6	34	6	17	197
	36		79		25					
8	5	33	30	55	16	9	25	2	14	189
	38		85		25					
9	7	30	26	67	18	11	35	10	20	224
	37		93		29					
10	5	31	36	74	16	14	38	10	16	240
	36		110		30					

11	7	24	25	67	14	13	26	5	21	202
	31		92		27					
12	6	27	23	73	15	15	23	7	22	211
	33		96		30					
1	7	25	23	75	14	14	23	6	6	191
	32		98		28					
2	8	29	21	77	11	15	31	11	18	221
	37		98		26					
3	9	33	20	80	15	14	32	7	23	233
	42		100		29					
計	85	326	312	730	199	128	299	80	185	2344
	411		1042		327					

(6) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会議（毎月2回）
2. めばえ意見書会議（年2回）
3. 家庭児童相談課との会議（判定会議、随時）
4. 行事会議（随時）
5. 処遇会議（毎日）

(7) 災害防止対策（つくし園と同様）

利用児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練（総合訓練を含む）を月に1回実施した。

(8) 職員研修

つくし園事業報告に記載

(9) 新型コロナウイルス感染症の対応及び感染拡大防止に向けての対策

令和2年2月頃より日本国内での感染者拡大を受け、下記対応を行った。

- ・利用児、職員、来園者の手洗い・うがい・消毒・体温等体調チェックの実施
（体調がすぐれない・37.5度以上の発熱の場合利用を控えていただいた。）
- ・訓練実施前後の手洗いうがいの励行・マスク着用の徹底（訓練中の利用児は除く）
- ・密を避ける環境構成及び室内の換気・訓練内容の工夫
（密にならない。飛沫が飛ばない。玩具を共有しないなど）
- ・教材・玩具・設備（共有部分）等の消毒。使用後の部屋の消毒
- ・感染防止のための環境設定（アクリル板の設置・空気清浄機の設置等）
- ・保護者・職員への感染を防ぐための対応・行動等の協力依頼

- ・家族に感染の可能性がある自宅待機となった場合は、職員及び当園利用児も自宅待機の協力を要請
- ・他機関との情報共有

◆令和2年3月から実施された学校休校中の措置

- ・摂津市子育て支援課との協議の基、感染防止対策を行ったうえで従来通りの事業実施とした。

◆所属校で感染者が出た場合

- ・新型コロナウイルスの感染により、所属校、所属園が休校、休園となった場合は、当園の利用も控えていただくよう周知、徹底した。(家族等が感染の可能性がある場合も同様の措置)